

「需要つかめる利点も」

ファンディング 大学生が体験語る

熊本市

インターネット上で金を募る「クラウドファンディング」のビジ

ネスへの活用法を探るセミナーが9日、熊本市中央区の県信用保証協会であった。

クラウドファンディングを新商品のテストマーケティングや顧客獲得に活用し、事業拡大につなげてもらおうと、日本政策金融公庫などが企画。同公庫の取引先の事業主ら約50人が参加した。

学生の起業を促す崇城大の部活動「起業部」の白石美嘉さん(22)が、球磨焼酎と県産果実を使ったリキュールの商品化にクラウドを活用した体験について講演。「蔵元に生産を委託する資金として50万円を募ったら、全国から150万円が集まった。量産する前に需要を把握できる利点もあった」と話した。

クラウドの活用例として、映画制作への支

援を呼び掛けてヒットにつながったケースなども紹介された。

(猿渡将樹)

2017年3月10日
熊本日新聞 P.8